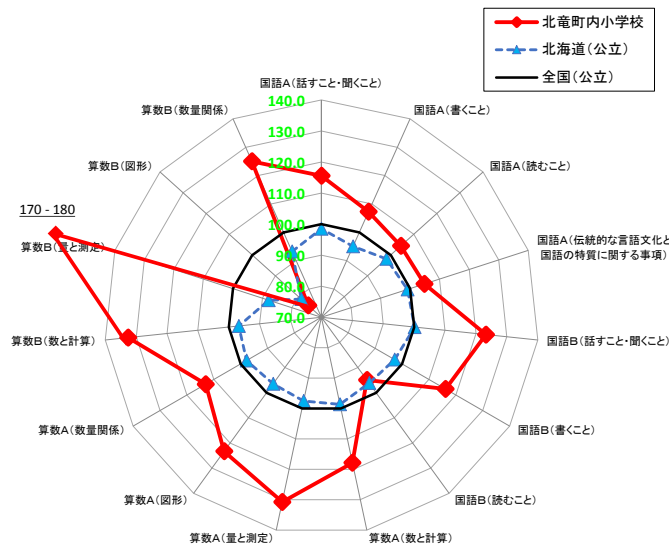


北竜町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:10人)

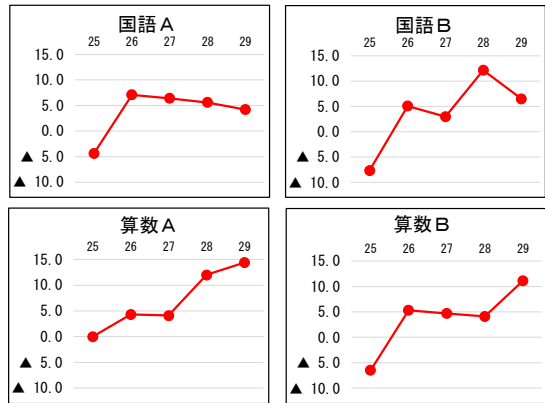
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

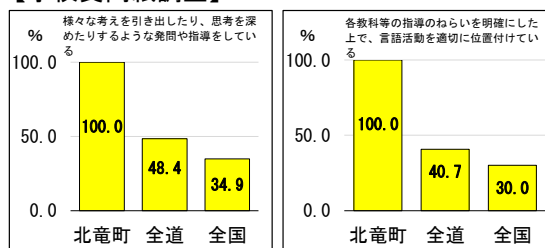


【平均正答率の全国との差の推移】

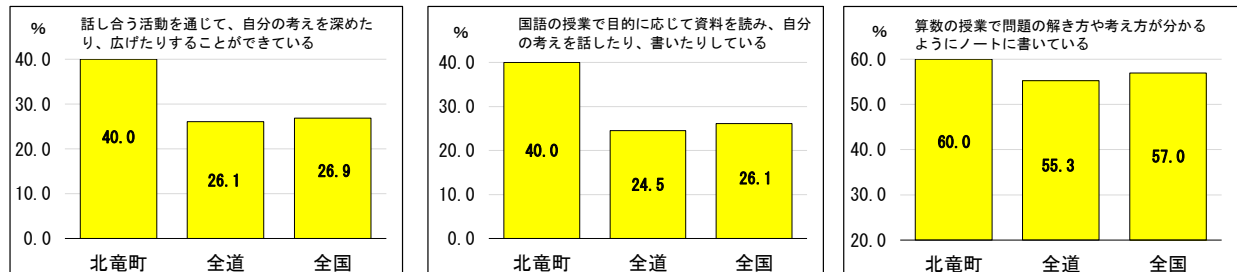
※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、すべての領域、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、すべての領域、Bでは、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導を工夫した結果、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた取組をよく行った結果、国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする児童や、算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようノートに書いている児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けている。 ○ 様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導をよく行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の実践指導力を高める取組の充実や学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる授業づくりを推進した結果、すべての教科で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

【北竜町の学力向上策】

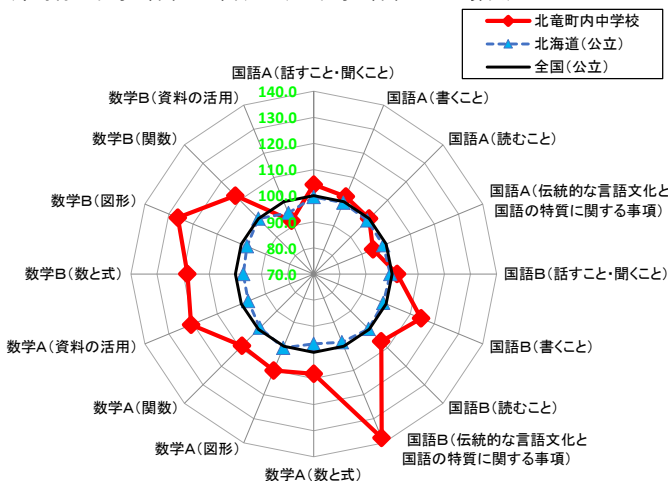
- ◎ 町教育振興会での小中連携した研究活動など、教職員の実践指導力を高める取組の充実
- ◎ 児童の能動的な学習スタイル(問題解決学習・体験学習・ICT機器の活用など)を位置付けた主体的・対話的で深い学びの授業の取組
- ◎ 自分で考えたことを分かりやすく、簡潔に記述できる授業の取組
- ◎ 持ち物・姿勢・発表の仕方など、学習規律教室に掲示し意識させる取組
- ◎ 問題やテストにおいて、間違いやできなかった問題を見直す習慣を身に付ける取組
- ◎ チャレンジテストを計画的に実施して、無解答を無くし誤答を見直す取組
- ◎ 「家庭学習の手引き」を配布し、家庭や地域と連携した学習習慣や望ましい生活習慣の定着を図るための取組

■北竜町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:14人)

【教科全体の状況】

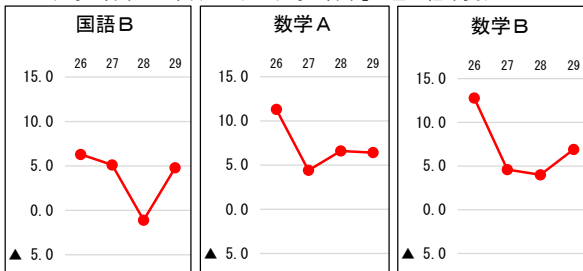
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

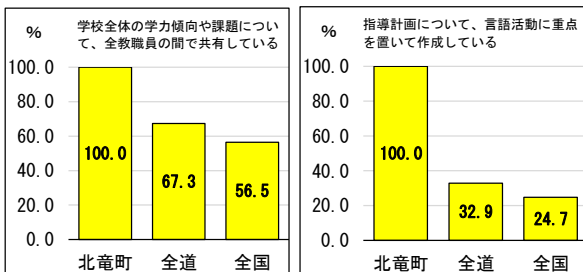


【平均正答率の全国との差の推移】

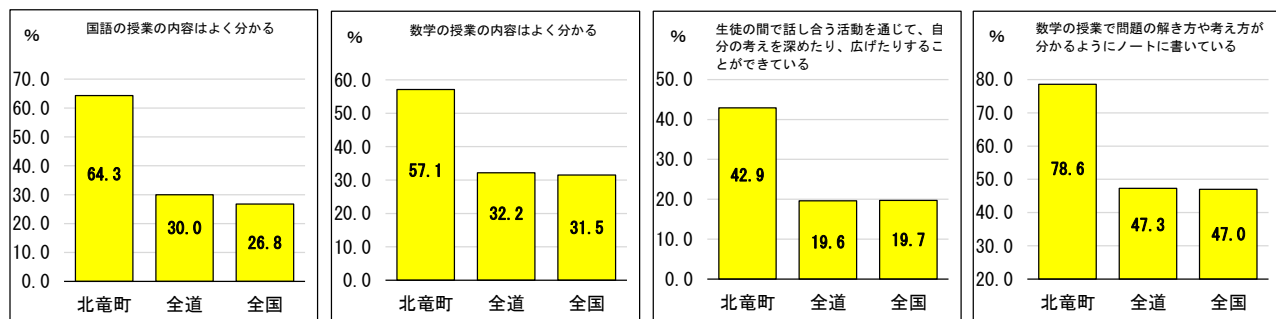
※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」、Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、すべての領域、Bでは、「数と式」「図形」「関数」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有した結果、日常の授業改善が図られ、国語、数学の授業の内容がよく分かると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動に重点を置いた指導計画を作成し、授業の充実を図った結果、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする生徒や、数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 教職員の実践指導力を高める取組の充実や学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる授業づくりを推進した結果、国語B、数学A・Bで全国の平均正答率を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している。 ○ 指導計画について、言語活動に重点を置いて作成している。 	

【北竜町の学力向上策】

- ◎ 町教育振興会での小中連携した研究活動など、教職員の実践指導力を高める取組の充実
- ◎ 「学ぶ楽しさと、わかる喜び」を実感できる授業の推進
- ◎ 家庭や地域と連携した学習習慣や望ましい生活習慣の定着を図るための取組の徹底
- ◎ 教育課程の適切な実施・改善(基礎基本の定着、スパイラル学習等)
- ◎ 指導方法の工夫改善(小集団活用の共に学び合う学習/話し合い学習)
- ◎ ひまわり栽培管理や観光案内、職業体験学習を通じたキャリア教育の推進
- ◎ 家庭学習のための適切な課題設定と提供
- ◎ 学校評議員、保護者、地域住民の評価や意見を取り入れた魅力ある学校運営や地域に信頼される学校づくりの推進